

やすらぎづくり

日本一の暮らしやすさを目指して

「学ぶまち」

学びを通して成長するために

郷土への誇りと生きる力を育むまちづくり

価値ある文化の共生と創造性あふれるまちづくり

心の豊かさで生きがい満ちたまちづくり

「暮らしやすいまち」

暮らしやすさを実現するために

健やかでやすらぎに満ちたまちづくり

誰もが住みたくなるまちづくり

公平で効率の良いまちづくり

「楽しむまち」

活力と楽しさを創造するために

人々が行き交い賑わいを生むまちづくり

魅力と創造性発揮による活気あふれるまちづくり

町民と行政とによる心豊かなまちづくり

恵まれた自然環境と共生するまちづくり

【市川三郷レンジャー誕生秘話】

県立市川高等学校美術部の生徒の協力により、子どもからお年寄りまで誰にでも親しまれるわかりやすいキャラクターを取り入れ、この市川三郷レンジャーが誕生しました。それぞれの顔は、町の特産品でもある大塚人参、花火、印章をイメージしています。

ふるさとを見守る
市川三郷レンジャーが
町の「今」をレポート！

にんにん



- 誕生日／12月2日（「にんにん」にちなんで2日）
- 出生地／三珠地区「のつぶいの地」
- 趣味／家庭菜園・歌舞伎鑑賞・温泉巡り（お気に入り：歌舞伎公園・みたまの湯）
- 特技／料理
- 好物／大塚にんじん・甘々娘（とうもろこし）
- 性格／優しくて穏やか。
市川三郷町で採れた野菜を使った手料理で、みんなをもてなすことが大好き。

どんどん



- 誕生日／8月7日（神明の花火大会当日）
- 出生地／市川地区の笛吹川沿い
- 趣味／花火観賞・お祭りに行くこと（お気に入り：神明の花火大会）
- 特技／和紙漉き・習字
- 好物／ころ柿
- 性格／頼りがいがある。
元気でお祭り好き。
（町のお祭り情報はくまなくチェック）



ぽんぽん



- 誕生日／10月1日（印章の日）
- 出生地／六郷地区の「ふれあいの森」
- 趣味／温泉巡り・体力づくり（お気に入り：つむぎの湯・ニードスポーツセンター）
- 特技／はんこづくり
- 好物／あんびん
- 性格／知的でいろいろな事を知っている。
自分の感情や行動により、時々顔の文字が変わる。常に体力づくりも。

学ぶまち

学びを通して成長するために

自然や文化、地域性を活かした教育環境の中で、
子どもたちはのびのびと成長し、町民の誰もが学び合い、高め合いながら、
生き生きとした豊かな毎日を送っています。



元気いっぱい活躍、六郷小学校運動会



図書館まつり



中井貴恵さんによる読み聞かせ

郷土への誇りと生きる力を育むまちづくり 学校教育・幼児教育・体験学習

子どもたちの 輝く未来を育む

市川三郷町では、未来を築いていく子どもたちが充実した教育環境で学べるように、小学校6校、中学校4校のすべての学校の全学年で30人程度学級に取り組んでいます。町単独負担で教員の加配を実施し、少人数学級によるきめ細やかな指導を実現しています。

英語教育にも力を入れ、平成27年度から3年間、文部科学省が実施している小中高が連携して取り組む「英語教育強化地域拠点事業」の指定を受けました。小学校2校、中学校1校、市川高校が連携を図りながら、より実践的で効率的な英語教育について研究開発を行っています。平成28年度以降は、小中学校全校に広げて取り組んでいきます。

また子どもたちの国語力の向上を目的に、独自の作文添削指導「ことばの森」教室も開催し、毎年140人を超える子どもたちが受講しています。

やすらぎづくり新聞
日本一の暮らしやすさを目指して

市川三郷町町勢要覧
2015

主な記事

- **学ぶまち** 学びを通して成長するために
- **暮らしやすいまち** 暮らしやすさを実現するために
- **楽しむまち** 活力と楽しさを創造するために





夏休みのバスハイク 桔梗屋工場見学



夏休みのバスハイク 県立リニア見学センター



約120m分のロール障子紙を中央通りに広げ、約100名の参加者がメッセージや自作の川柳などを書き込む巨大絵巻づくり



英会話教室



上野小学校の児童による篆刻体験



和紙職人の豊川さん指導のもと卒業証書用の和紙を漉く小学生

伝統を学び、次代につなぐ

小学5年から中学3年までの児童・生徒がテーマに沿った作文を書き、国語教育に携わってきた地域の人が添削指導を行っています。文章を書くことはもちろん、考える力や表現する力、創造する力など多くを学ぶ機会となっています。

市川三郷町には古くから地域が大切に守り受け継いできている伝統文化や伝統産業がたくさんあります。町が誇る文化や産業に触れることも大切な教育であり、町内の小中学校では伝統産業を学ぶ機会も多く設けています。

そのひとつが、小学6年生が行う和紙の手漉きです。町内の小学校では卒業証書に使う和紙を、毎年6年生が自らの手で漉いています。地域の和紙職人に手ほどきを受けながら一人ひとり漉いた卒業証書は、より思い出深いものとなっています。



花火を楽しむマスカティーン市の中学生



アイオワ州マスカティーン市との国際交流



大門碑林全国書道展



町民合唱祭



大門碑林公園



歌舞伎文化公園

和紙や篆刻などの伝統産業とともに、書などの文化も町に息づいています。町内には漢字文化を伝える庭園式の公園「大門碑林公園」があり、毎年「大門碑林全国書道展」を開催し、全国から約4000点の作品が寄せられます。県下で一番古い書道展といわれる上野地区の表門神社の「文殊県下書道展」も行われています。

また三珠は歌舞伎の市川團十郎の発祥の地としても知られています。その史実に基づいて建設された歌舞伎文化公園には、市川團十郎顕彰会によって建てられた碑もあり、町民の大きな誇りになっています。

町に息づく独自の文化

国際交流・地域間交流・文化芸術の振興

価値ある文化の共生と創造性あふれるまちづくり

出会いにあふれた国際交流

市川三郷町では国際交流も積極的に行っています。姉妹都市の米国アイオワ州マスカティーン市とは、市川三郷町国際交流協会が主体となり、毎年相互に中学生のホームステイを行う交流事業を25年以上実施してきています。

マスカティーン市を訪れる市川三郷の子どもたちは、アイオワののびやかな大地で、日本では経験できないさまざまなことに挑戦します。また市川三郷町を訪れるマスカティーン市の中学生は、和紙の手漉きなど、この町ならではの体験を楽しんでいます。

交流は互いに異なる文化を体験するとともに、自分の生まれ育った国や町についての理解を深め、新たな創造力を生み出す貴重な機会となっています。





ラップの芯で万華鏡づくり(三珠図書館)



パソコンを使ってTシャツをデザイン(市川図書館)



町民ソフトバレーボール大会



折り紙づくり(六郷図書館)



夏休み図書館工作教室(市川図書館)

また地域の人が豊かな経験や技術を子どもたちに教える「楽しい教室」も町内各地で開催しています。放課後の小学生を対象に年間15回程度行い、茶道や書道などさまざまなことを子どもたちに指導しています。

子どもから高齢者まで誰もが健やかに過ごし、生涯にわたって学び合いながら、心の豊かさや生きがい、に満ちた活力を育む活動にも積極的に取り組んでいます。

町内に3カ所ある図書館では、自主グループによる朗読会や絵本講座、歴史講座などを定期的に開催しています。地域の人が気軽に自由に参加し、学び合える地域に密着した活動です。

健やかに学び合う町へ

生涯学習・生涯スポーツ振興

心の豊かさや生きがい、に満ちたまちづくり



各地区で行われる運動会

文化活動とともに、スポーツも盛んに行われています。体力測定を兼ねたスポーツフェスティバルや、ソフトバレーボール大会などの町民スポーツ大会、基礎体力の維持や増進のための各種スポーツ教室など多彩に開催。軽スポーツを楽しみながら自身の体力を知ったり、スポーツを通して交流を楽しむなど、たくさんの人が参加して活発に活動しています。



暮らしやすいまち

暮らしやすさを実現するために

安心で安全な生活環境の中で営まれる、夢や希望にあふれ、やすらぎに満ちた健やかな暮らし。
そんな誰もが暮らししたくなるまちづくりを進めています。



パラバルーンに大興奮(子育て支援フェスティバル)



みんな大好き！新聞紙ボール(子育て支援フェスティバル)



中学生ボランティアの読み聞かせ(子育て支援フェスティバル)



みたま児童館



峡南医療センター 市川三郷病院

また毎年5月には、子育て支援の自主グループやサークルが集まり「子育て支援フェスティバル」も開催。日頃の活動を活かした読み聞かせやゲームなどを行い、多く

ながら、育児相談なども行っています。
子育て支援では、町内に4カ所ある児童館や保育所などに地域子育て支援センターを開設。多くの赤ちゃんとお母さんが訪れ、親子がふれあいや交流を楽しみながら、育児相談なども行っています。

市川三郷町は赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが安心して健やかに暮らせる福祉と医療、介護の行き届いたまちづくりを進めています。

子どもの笑顔が輝くまちに

子育て支援・健康づくり・医療の充実・介護サービス

健やかでやすらぎに満ちたまちづくり

の親子が楽しんでいます。

ほかにも安心子育て24時間携帯電話相談、放課後の児童を預かる放課後児童クラブなど、幅広い子育て支援に取り組んでいます。

一人ひとりの自立に向けて

障害者福祉にも積極的に取り組んでいます。精神障害者「イケア」「この家」は毎週2回開催し、作業や生活訓練などを行っています。また家にこもりがちの方が気軽に集まれる場「でこうし」も独自に開設。自立に向けたさまざまな取り組みを進めています。



いきいき・はつらつ貯筋教室



健康と福祉のつどい

住み慣れた地域で暮らすために

高齢化がますます進む中、高齢者やその家族が住み慣れた地域でその人らしく生活を続けられるよう、介護、福祉、保健、医療などさまざまな面での支援を行うための相談を行っています。

健康な体づくりでいきいき

またいつまでも健康に生き生きと過ごせるよう、介護予防のための健康な心と体づくりにも力を入れています。

いきいき・はつらつ貯筋教室

生活習慣病予防、ロコモティブシンドローム予防を目的とした運動教室です。健康運動指導士によるプログラム、指導のもと、町内4地区で毎月2回開催しています。40代〜70代の方を中心に毎回たくさんの方が集まり、交流も楽しみながらいきいきと身体を動かしています。

町全体が認知症サポーターに

近年増えている認知症の予防事業や支える仕組づくりにも力を入れています。町独自で認知症サポーター養成講座を開設し、これまでに延べ1900人が受講。町全体で認知症の理解を深め、効果的な活動につながるのと同時に、認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを進めています。

誰もが住みたくなるまちづくり

生活環境・上下水道・防災・交通安全・情報化

若者世帯の定住化を支援

少子高齢化や人口の減少が進む中、人口増加対策を図り、快適で魅力あるまちづくりを推進するため、若者世帯の定住化をめざした取り組みにも力を入れています。

若者定住促進住宅補助金事業はそのひとつ。町内に定住を希望して住宅を取得し、町外から転入してくる夫婦どちらかが40歳以下の若者世帯で一定条件を満たした世帯を対象に、町内に住宅を取得し

た場合は50万円、その夫婦の子で地域の小学校へ入学、または転校し、卒業する予定の子でも第1子に10万円、第2子以降は20万円など、限度額を100万円とした補助金を交付しています。

また現在整備が進んでいる山王土地区画に住宅を新築し入居する場合も同様に、補助金を交付するなど定住化を強力に進めています。



市川三郷町は 若者世帯・子育て世帯を応援します。

最高額 **100万円!**

市川三郷町内に定住を希望する若者に対し、予算の範囲内において補助金の交付をおこないます。

補助対象者

- 日本国籍または日本に永住資格があり、市川三郷町内に転入する方（転入した日前1年間町内に住所または居所を有していなかった方）
- 購入者である夫婦いずれかが満40歳以下の若者世帯であること
- 居住する世帯員に市町村税等滞納がない方
…など要件があります。詳細は町企画課までお問い合わせください。

補助金額

- ①平成27年4月1日以降に住宅を取得し入居した場合 … **50万円**
- ②補助金対象となる夫婦の子で、管内小学校へ入学（転校）し、卒業する予定の子も
第1子 … **10万円** 第2子以降 … **20万円**
- ③軽自動車の住所変更または新規登録を行った場合
軽自動車1台につき… **2万円**

※上記補助金の交付額は100万円を上限とします。

※所得は、一時所得となり確定申告が必要です。①については、住宅借入金等特別控除の適用となり、補助金額は取得対価から控除されます。（詳細は、課税課にお尋ねください）



ポンプ操法訓練大会



市川・高田・大同地区の河川一斉清掃



避難訓練でのα米試食体験

安心、安全に暮らせるまちへ

すべての町民にとって暮らしやすいまちづくりを進めるために、生活道路や上下水道など生活環境の計画的な整備を進めています。近年増加している集中豪雨による土砂災害に備えるための土砂災害全国統一訓練や地震災害に備えた総合防災訓練、地域に密着した消防団の充実や自主防災組織の強化などにも取り組んでいます。

また町政10周年を機に姉妹町締結した静岡県賀茂郡西伊豆町と防災の相互応援協定も結ぶなど、より安全で安心して暮らせるまちづくりを進めています。

公平で効率の良いまちづくり

男女共同参画・行政改革

互いを尊重するまちに

互いに支え合いながら誰もが自分らしく生きるまちづくりを進めるため、男女共同参画推進事業にも積極的に取り組んでいます。町民参加の推進委員が中心になり市川三郷町男女共同参画プランを策

定。町ではこれを広く町民に伝え、活動を支援しています。

また公平で効率的な町政の運営に努めることは町の責務です。町民生活の向上に向けた成果を第一に、行政改革にも引き続き取り組んでいきます。



西伊豆町との姉妹町締結調印式



西伊豆町の手筒花火



静岡県賀茂郡西伊豆町

楽しむまち

活力と楽しさを創造するために

中部横断自動車道の開通や関連道路の整備により、町の活力アップにも大きな期待が寄せられています。地場産業や農業などのさらなる活性化にも取り組み、町民と協働による楽しいまちづくりを進めていきます。



黒沢バイパス



JR身延線 市川大門駅



黒沢バイパス
開通式

新規の工場用地、商業用地も確保されるなど、都市計画も大きな広がりを見せています。

生活に密着した町道の整備も計画的に行われています。2015年には黒沢バイパスが完成。町の中心部へのアクセスがより速く、便利になりました。

また道路網の整備とともに、町営住宅や

中部横断自動車道の開通にあわせてインターチェンジへのアクセス道路や主要幹線道路、関連バイパスなどの整備も進められ、町の様相が大きく変わろうとしています。

静岡県静岡市を起点に市川三郷町を経由して、長野県佐久市までをつなぐ中部横断自動車道の建設が、着々と進んでいます。市川三郷町には（仮称）六郷インターチェンジが開設され、物流、観光、災害時の広域ルートなど、地域活性化に大きく寄与されることが期待されています。

未来の活力を育む環境へ

道路整備・中部横断自動車道の有効活用・公共交通機関の整備

人々が行き交い賑わいを生むまちづくり



コミュニティバス

町では、コミュニティバスなどを投入し、すべての町民の安全で快適な暮らしが確保できるよう取り組んでいます。

一方、身延線の各駅からやや離れた町の中心部などへの行き来には、路線バスが欠かせません。高齢化が進む中、買い物や通院などの日常の足として一層の充実が求められています。

町を南北に走るJR身延線は町内に7駅があり、通勤、通学に大きな役割を果たしています。

安全で快適な暮らしに向けて



JR身延線



人気の四尾連稜線トレイルラン



はんこ日本一六郷の里秋祭り



甘々娘収穫祭では、あっという間に完売してしまう盛況ぶり



楽しいイベント盛りだくさん大塚にんじん収穫祭



大塚地区の工業団地

魅力と創造性発揮による 活気あふれるまちづくり

農林業・商工業・観光

新たな視点で活性化へ

豊かな大地を活かした農業は、各地域で特色ある農作物のブランド化を進めるなど活性化に取り組んでいます。

初夏のとうもろこし「甘々娘」や初冬の「大塚にんじん」は県内はもちろん、近県からもたくさんの方が買いに訪れるほどの人気です。毎年行っている収穫祭の来訪者も年々増え、盛大になっています。

市川三郷町には和紙や印章、花火など、長い歴史を持ち、全国に誇る技術を有する伝統産業もあります。

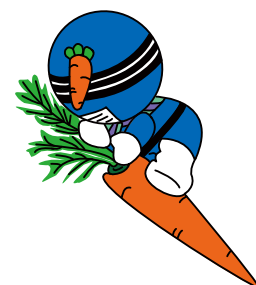
それぞれが受け継いできた技術を守るとともに、文化的な価値をあらためて見つめ直して発信し、実演や見学など体験できる観光施設との連携なども図りなが

ら、さらなる活性化に取り組んでいます。

また将来を見据えた計画的な工場誘致や、商店街の活性化に努めています。

町にあふれる観光資源

豊かな自然と文化に恵まれた市川三郷町には、観光資源もたくさんあります。初代市川團十郎ゆかりの地として知られる三珠の歌舞伎文化公園や漢字文化を伝える大門碑林公園、すばらしい眺望のみたまの湯と、ミネラル成分豊富な泉質のつむぎの湯には、年間を通して多くの人が訪れています。



みたまの湯



市川小・中・高校生による力作、スロープ壁画



ホームページでは最新の情報を入手できる



町民と協働して心豊かな町へ

まちづくりには町民の協力は欠かせません。町ではより多くの町民に積極的に参加してもらい、さまざまな場面での協働を推進していくため、広報活動などにも力を入れています。

広報「いちかわみさと」では町の施策や活動状況、行事内容などを詳しくタイムリーに伝えるとともに、さまざまな意見を反映し、親しみやすい紙面作りに努めています。また町の予算について分かりやすく

解説した「知ってほしい、まちの予算」も発行し、町の事業展開や財政状況を詳しく知らせています。

ホームページの活用も積極的に行い、町民向けの行政情報や暮らしに役立つ情報イベント情報、観光情報なども広く発信しています。

また地域の現状をきめ細かく把握し、町民の声を直接聞けるよう、町長が各支所に出向いて町民と対話する「町民と町長のふれあい室」も定期的に関き、町政に反映できるよう努めています。

住民参画と協働の推進

恵まれた自然環境と共生するまちづくり

土地利用・景観の保全・自然環境の保全

美しい自然と景観を次代へ

標高1279mの蛾ヶ岳をはじめ、四尾連湖や芦川溪谷、甲府盆地を南流する富士川の流れ、のどかな山村風景や歴史的な町並みなど、市川三郷町には豊かな自然と美しい景観が広がっています。

それらを保全し有効に活用しながら次

代へと受け継いでいくために、町では長期的なスタンスで土地整備や都市計画、景観計画を進めています。

地域の魅力を増進し調和のとれた景観を創る景観計画を策定し、自らの町の将来図をみんなの力で作りあげられるよう、広く啓蒙活動なども展開しています。



芦川溪谷



神秘的な四尾連湖



美しい街並づくりに取り組む住まいのデザインノート等の活動が「美しい県土づくり大賞」を受賞



釜無川とハヶ岳





未来を見つめた議会運営で、町政発展の基盤づくり

議会は、住民から直接選ばれた一定数の議員で構成される地方公共団体の意思決定機関であり、町の未来を方向付ける重要な役割を担っています。

市川三郷町議会は、16名の議員で構成され、この中から議長、副議長が選任されます。

また、適正で円滑な議会運営を図るために、議会運営委員会が設けられています。

定例会は3月、6月、9月、12月の年4回開催され、臨時会は必要に応じて開かれます。町の予算をはじめ、町民の暮らしに関わるさまざまな案件や請願などの審議を行い、町政発展の基盤になっています。

また、総務教育、厚生、土木環境の三つの常任委員会があり、各議員はいずれかの委員会に所属しています。提出された議案などをそれぞれの部門に分け、専門的に調査を行い、詳しく審議しています。

「議会だより」は、議会活動に対する住民の理解を深めるため、定例会ごとに年4回発行し、ホームページでも公開しています。



いちかわみさと議会だより



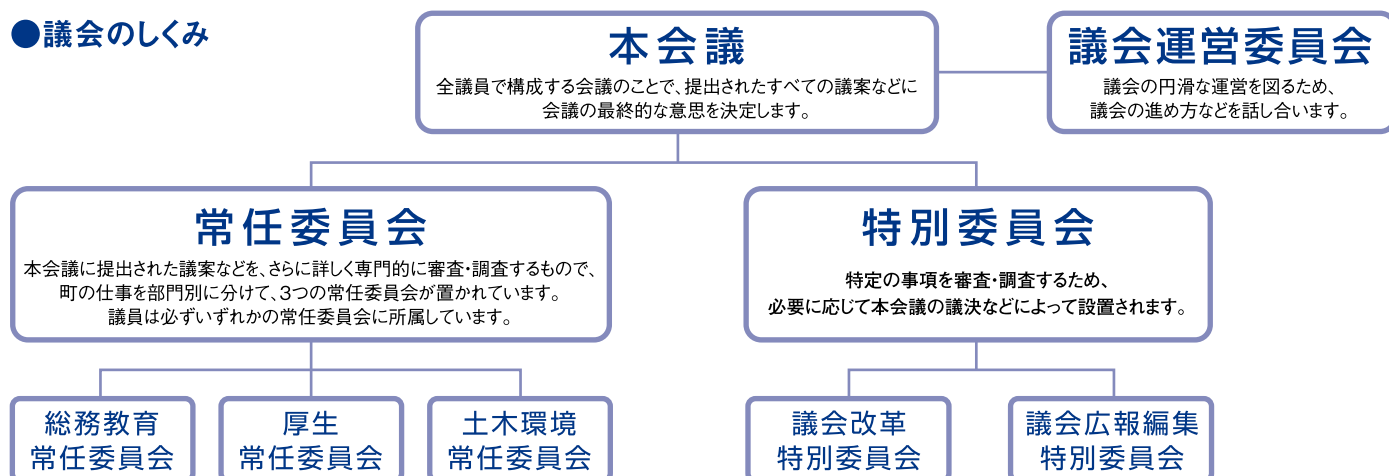
三神 貞雄 議長



宮崎 博巳 副議長



●議会のしくみ



市川三郷町 町民憲章

- 一、郷土と自然を愛し、きまりを守る、住みよい町をつくりましょう。
- 一、心をみがき、からだをきたえ、健康で明るい町をつくりましょう。
- 一、教養をゆたかに、視野を広げ、かおり高い文化の町をつくりましょう。
- 一、心のかよう愛の輪で、皆で支える、福祉の町をつくりましょう。
- 一、まじめに働き、力をあわせ、活力ある豊かな町をつくりましょう。







神明の花火

QRコードをスキャンすると
動画が楽しめます



市川三郷町 町勢要覧 2015

山梨県西八代郡市川三郷町市川大門1790-3
Tel 055-272-1101 Fax 055-272-2525
<http://www.town.ichikawamisato.yamanashi.jp/>

発行：市川三郷町役場 平成27年10月1日発行
制作：株式会社 サンニチ印刷

